

					発注番号		143			
令和7年度市道桶海大鹿線 道路管理工事 実施設計書					課長		補佐		係長	
					設計		検算			
工事番号	債道管 第 3 号	工事日数	150 日間	令和 年 月 日 着手 令和 年 月 日 竣工						
実施 設計額	— 金 円 也 (内 消費税及び地方消費税額 円)		施工地名							
変更 設計額	— 金 円 也 (内 消費税及び地方消費税額 円)		路線名	市道桶海大鹿線						
実施 請負額	— 金 円 也 (内 消費税及び地方消費税額 円)		施工箇所							
変更 請負額	— 金 円 也 (内 消費税及び地方消費税額 円)		妙高市 大鹿 地内							
実施 工事概要	舗装修繕 L=200.0m W=7.50m 切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ⑫密粒度As(13FH) 改質Ⅰ型 t=3cm A=1,500m2 区画線工 1式		変更 工事概要							

起 工 理 由 書

道路舗装が破損しており、通行に支障をきたしていることから本工事を行う。

工 事 方 法

本工事は、別紙「特記仕様書」により施工する。

備 考

【 工事等請負契約にあたっての留意事項 】

R 7. 4. 1 改訂

1. 契約保証金の納付について（財務規則第145条）
1000万円以上の請負契約書を締結するときは、契約保証金の納付が必要です。
ただし、同条第3項の担保の提供をもって代えることができます。
2. 前金払の支払いについて（財務規則約款第35条）
請負金額が50万円以上の工事で、保証事業会社と保証契約を締結したときは前金払の支払いを請求することができます。
3. 施工体系図等の作成と掲示について（入札契約適正化法関連）
工事請負等（委託を含む）にあたっては、妙高市の入札案件すべてについて下請契約を締結した場合、施工体系図を作成し施工計画とあわせて監督員に提出してください。
また、建設業法第24条の7第4項に規定する施工体系図については、工事現場の「工事関係者及び公衆が見やすい場所」に掲示しなければなりません。
4. 施工体制等確認について
契約金額が600万円以上の工事は「施工体制等確認要領」に基づき、工事現場等における施工体制等を確認しますので、監督員が関係書類の提出を求めた場合は、その指示に従ってください。
5. 請負工事成績評定について
請負金額が500万円以上の工事は「妙高市請負工事成績評定実施要綱」に基づき、工事成績を評定します。
6. 工事における創意工夫等実施状況の提出について（工事成績評定要領第4条第7項）
受注者は、工事の施工において、自ら立案した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式（要領別紙6・別紙6の2）により提出することができます。
7. 工事等事故報告について
万一事故が発生した場合は、「工事等事故報告要領」に基づき、速やかに速報してください。
また、報告を要する事故の場合は、所定の様式に従い、速やかに報告してください。
8. 建設業退職金共済制度に関する事務取扱について
請負金額が200万円以上の工事は「建設業退職金共済制度に関する事務取扱要領」に基づき、「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」あるいは「建設業退職金共済証紙（無購入・購入遅延）理由書」を所管課へ提出してください。

債道管第3号 市道桶海大鹿線道路管理工事

特 記 仕 様 書

【適用範囲】

本工事の施工にあたって受注者は、契約書に基づき、設計図書に従って施工するものとする。また、設計図書のうち仕様書については、本「特記仕様書」及び「新潟県土木工事標準仕様書」を適用するものとする。

CORINSへの登録については、「新潟県土木工事標準仕様書」のとおりとする。

工 事 仕 様 総 括

本工事は、「新潟県土木工事標準仕様書」及び添付の「特記仕様書」により施工すること。

施 工 条 件 総 括

下記項目、事項のうち○印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。

なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、甲（市）と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明 示 項 目	施 工 条 件
Ⅰ 工 程 関 係	1 関連する別途発注工事あり
	② 施工時期、時間、方法の制限あり <ul style="list-style-type: none"> ・ 時 期：安全な通行を早期に確保するため、令和8年5月末までに現場施工を完了させること。 なお、降積雪等のやむを得ない理由により、令和8年5月末までに現場施工の完了が困難な場合は、監督員と協議すること。 ・ 時 間： ・ 方 法：
	3 関係機関協議による工程条件あり <ul style="list-style-type: none"> ・ 協 議 内 容： ・ 完了予定時期：
	④ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元関係者と協議を行い決定すること。
Ⅱ 用 地 関 係	1 工事用地等の未処理部分あり <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理見込時期： ・ 区 間：
	2 仮設ヤードの指定あり <ul style="list-style-type: none"> ・ 場 所： ・ 期 間：
	3 その他
Ⅲ 公 害 対 策 関 係	① 公害防止の制限あり（騒音・振動、 <u>排出ガス</u> 、粉じん、水質等） <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工方法： ・ 作業時間：
	2 家屋等の調査の必要性あり <ul style="list-style-type: none"> ・ 方 法： ・ 範 囲：
	3 その他
Ⅳ 安 全 対 策 関 係	① 交通安全施設等の指定あり <ul style="list-style-type: none"> ・ 交 通 誘 導 員：片側交互通行規制 3人/箇所 交通整理必要日数 2.0日間（3人×2.0日間=6.0人・日） ・ その他施設等：
	2 近接作業制限あり（鉄道、ガス、水道、電気、電話等） <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容： ・ 工 法 制 限： ・ 作業時間制限：
	3 発破作業あり <ul style="list-style-type: none"> ・ 保安設備及び保安要員： ・ 防 護 工： ・ 作業時間制限：
	4 防護施設（落石、雪崩、土砂崩落等） <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容：
	⑤ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事区間については、片側交互通行規制での施工を計画している。 ・ 交通誘導員については、警察等関係機関との協議により交通処理方法等の変更が生じた場合や現地の状況により、これによりがたい場合は、監督員と協議すること。 ・ 施工時の安全管理の徹底と作業員の安全を十分確保し、施工すること。

明 示 項 目	施 工 条 件
Ⅴ 工事用道路 関 係	1 一般道路を搬入路としての使用制限あり ・ 搬 入 経 路 : ・ 期 間 : ・ 使用後の処置 :
	2 一般道路の占有 ・ 期 間 : ・ 規 制 条 件 : ・ 時 間 制 限 :
	3 仮設道路設置 ・ 工法指定の有無 : ・ 用 地 関 係 : ・ 安 全 施 設 : ・ 工事完了後の「存置」または「撤去」 :
	4 その他
Ⅵ 仮設備関係	1 仮設備の指定あり
	2 仮設備の条件指定あり
	3 仮設構造物の転用, 兼用あり ・ 工 種 : ・ 内 容 :
	4 イメージアップあり ・ 内 容 :
	5 その他
Ⅶ 残土・産業 棄 物 関 係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり
Ⅷ 工事支障 物 件 等	1 占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等） ・ 内 容 : ・ 移設、撤去、防護方法等 : ・ 時 期 :
	2 占用物件重複施工あり ・ 内 容 :
	③ その他 ・ マンホール等については、道路占用者と協議し、路面の高さを調整し施工すること。
Ⅸ 排 水 工 (濁水処理む)	1 濁水、湧水処理等の特別な対策あり ・ 内 容 :
X 薬 液 注 入 関 係	1 薬液注入工法あり ・ 別紙条件明示による
Ⅹ Ⅰ そ の 他	1 現場発生材あり ・ 品 名 : ・ 納入場所 :
	2 支給品及び貸与品あり ・ 品 名 : ・ 引渡場所 :
	3 品質証明の必要あり ・ 標準仕様書第1編(章) 1-1-24による
	④ そ の 他 ・ 現場着手前に起工測量を行い、その結果を工事打合せ簿に図面や計算書などの関係書類を添付して監督員に提出し、指示を受けてから着手すること。（設計変更該当するものは、指示内容のとおり変更する。指示以外の項目は変更の対象としない。） ・ 施工計画において、第三者に対する安全対策を計画し、承認を受けること。

明 示 項 目	施 工 条 件
XⅡ 排 出 ガ ス 対 策 型 建 設 機 械	・ 排出ガス対策型建設機械（第2次基準及び第3次基準）を標準としている施工においては、これを積極的に使用し普及促進に努めること。
XⅢ 材料指定 関係	・ 材料名・材料規格については、参考資料で指定している。なお、参考資料に仮設工がある場合における数量・材料名・材料規格は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考であるので、指定とはならない。
XⅣ 施工方法等	・ 施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。（建設工事請負基準約款1条第3項による）
工 事	<p>1. 生コンクリート</p> <p>① 高炉セメント（B種）を使用した生コンクリートを使用すること。</p> <p>② 生コンクリートの規格は、設計図面に明示してある規格のほか下記の水セメント比を満たすこととする。</p> <p style="text-align: center;">均しコンクリート-----W／C ≤ 65%</p> <p style="text-align: center;">無筋コンクリート-----W／C ≤ 60%</p> <p style="text-align: center;">鉄筋コンクリート-----W／C ≤ 55%</p>

建設副産物関係

1. 再生資材の利用

工事受注者は下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	備考
再生加熱アスルト混合物	⑨密粒度As(13F)	表層	最寄の再資源化施設

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土処理は、下記により積算している。

搬出先			
搬出先地名			
連絡先			
設計運搬距離			
受入時間			
設計受入費用			
仮置場所の有無			
備考			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。処理施設が決まり次第、監督員に報告し協議すること。

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記により積算している。

搬出する廃棄物名	アスルト廃材		
設計運搬距離	L=10.5km以下		
受入時間	別途協議		
設計受入費用	1,800円/t		
備考			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、発注者が想定している施設と受注者の掲示する施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 舗装版切断時の濁水搬出

工事の施工により発生する舗装版切断濁水は、下記により積算している。

設計運搬距離			
受入時間			
設計受入費用			
備考			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、発注者が想定している施設と受注者の掲示する施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

6. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

7. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

8. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。

中間技術検査関係

項 目	条 件	備 考
中間技術検査の対象	該 当 あ り ・ な し	

上記事項に該当ありの工事については、中間技術検査を次のとおり実施する。

項 目	条 件 等
1 実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工程の概ね 50% を予定している。 ・ 主要工種（ ）の1/3～1/2程度の完成時を予定している。 ・ 重要構造物（ ）の隠ぺい時前を予定している。 ・ その他（ ）
2 実施回数	
3 検査書類等	
4 その他	

※請負金額が1,000万円以上の工事は、既成部分検査と兼ねることができる。

概算数量発注方式特記仕様書

本工事の施工にあたっては、妙高市概算数量発注方式試行要領によるほか、本特記仕様書に基づき実施するものとする。

- 1 本工事は、概算数量発注方式により発注する工事である。
- 2 予定価格は、概算数量により積算したものである。
- 3 工事計画図書の作成は、受注者が行うものとする。なお、原則として、工事計画図書の作成に必要な調査及び測量等の費用は、通常行う設計図書の照査及び起工測量の範囲内であるため、原則計上しないものとする。
- 4 受注者は、工事施工前に工事計画図書を協議書（工事打合簿）により監督員に提出のうえ、承諾を得るものとし、指示書（工事打合簿）により工事を施工するものとする。
- 5 発注者は、工事計画図書に基づき設計数量を確定し、設計変更を行うものとする。

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意），“n”は任意の半角数値です。

1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxx	TRxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxx	Txxxxxxxxx	TTxxxxxxxx	TVxxxxxxxx	TRxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	KExxxxxxxx	TMxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxx	MMxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxx	TBxxxxxxxx	TCxxxxxxxx	TDxxxxxxxx	TGxxxxxxxx	TQxxxxxxxx		
その他	T9999001～T9999099 ※		Fxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx ※	TFJAxxxxxx ※	TYxxxxxxxx ※		
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合もあります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。※

積算基準〔1 県版〕	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準〔2 調査関係〕	SAxxxxxxxx	SBxxxxxxxx
	SCxxxxxxxx	SDxxxxxxxx
積算基準〔3 港湾〕	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準〔4 下水道〕	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準〔1 一般土木〕全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxx
積算基準〔4 公園緑地〕	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxx
積算基準〔6 機械・電気通信〕	SWExxxxxxxx	WExxxxxxxx
積算基準〔5 建設機械損料表〕	MMJxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900 ※	S0901 ※	SE918 ※	
名称、労務数量等を設定	SA901 ※	SA902 ※	SA910 ※	SC900 ※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合もあります。

3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機－〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合もあります。
SDHTxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。
同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

①本表1 単価コードのその他に記載されている単価コード。

②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。

③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。

④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。

⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表5の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

※本表5の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「※減額処理※」と記載されます。

※本表5の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「※単価置換※」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。
「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。
詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計, 予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0006

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1 ・規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊					
舗装		式			
切削オーバーレイ工		式			
路面切削		m2		1, 500	
殻運搬(路面切削)		m3		45	
廃材処理費		t		106	
オーバーレイ		m2		1, 500	
区画線工		式			
区画線設置		m		400	
区画線設置		m		100	
仮設工		式			
交通誘導警備員B		人日		6	
直接工事費					
運搬費		式			
建設機械運搬費		式			
貨物自動車による運搬(1車1回)		台		2	
共通仮設費（率分）					
共通仮設費計					

※※本工事費※※ 工事数量総括表

頁0-0007

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

[illegible]

参 考 資 料

この「参考資料」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、建設工事請負基準約款第 1 条にいう設計図書ではない。

従って「参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

総括情報表

頁0-0008

設計書名 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日/適用基準日 諸経費体系	実施設計書 1 実施単価 84 上越② 0-08. 01. 20(0) 1 一般土木	
	当 世 代	前 世 代
工種区分 施工地域区分 現場環境改善費 前払率 契約保証に係る保証 消費税率 労務単価の補正率 週休2日補正の有無 ICT3D出来形・納品補正 小型車補正	07 舗装工事 05 一般交通影響有(2)-1 00 なし 40 40% 03 保証なし 04 10% 21 0%:補正なし 00 なし(対象外等) 00 なし(R02. 10. 20～) 00 小型車補正なし	

07-実施-一般-1111-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0009

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊						X1000
舗装						Y1000000018
切削オーバーレイ工			式			Y2000000000
路面切削						SCB430010
0 省略	1,500	m2				施工 第0-0001号内訳表
殻運搬(路面切削)						SCB430020
0 省略	45	m3				施工 第0-0002号内訳表
廃材処理費 アスファルト舗装廃材						S0930
0 省略	106	t				施工 第0-0003号内訳表
オーバーレイ ⑫密粒度アスコン(13FH) 改質Ⅰ型 t=3cm						V0001
0 省略	1,500	m2				施工 第0-0004号内訳表
区画線工						Y2000000000
区画線設置 実線 W=15cm (外側線)			式			SWB821210
0 省略	400	m				施工 第0-0006号内訳表

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0010

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	区画線設置 破線 W=15cm (中央線)									SWB821210	
	0 省略	100	m							施工 第0-0007号内訳表	
仮設工										Y2000000000	
					式						
	交通誘導警備員B									SWB010212	
	0 省略	6	人日							施工 第0-0008号内訳表	
直接工事費											
運搬費										Z0002	
					式						
建設機械運搬費										YZ0000000000	
	0 省略				式						
	貨物自動車による運搬(1車1回)									SWB010010	
	0 省略	2	台							施工 第0-0009号内訳表	
共通仮設費 (率分)											
共通仮設費計											

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0011

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費						
現場管理費（率分）						
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						
一般管理費等						
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
工事費										

SCB430010 施 工 内 訳 表

施工 第0-0001号内訳表

機械構成比： 50.96% 労務構成比： 37.49% 材料構成比： 11.55% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 547.12 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格			構成比	単価(上越②)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)			単価(東京地区)	備 考
K1t'	路面切削機[ホイル式・廃材積込装置付] 排ガス型(第3次) 切削幅2.0m 深さ23cm		31.42%	円/供用日	路面切削機[ホイル式・廃材積込装置付] 排ガス型(第3次) 切削幅2.0m 深さ23cm				MMJ1131014 MM091131014
K2t'	路面清掃車[ブラシ・四輪式] ホッパ 容量 1.5m3		6.34%	円/供用日	路面清掃車[ブラシ・四輪式] ホッパ 容量 1.5m3				MMJ1101005 MM091101005
R1t'	普通作業員		13.27%	円/人	普通作業員				RR0102 RR9102
R2t'	土木一般世話役		4.02%	円/人	土木一般世話役				RR0125 RR9125
R3t'	運転手(特殊)		3.75%	円/人	運転手 (特殊)				RR0114 RR9114
R4t'	特殊作業員		3.67%	円/人	特殊作業員				RR0101 RR9101
Z1t'	軽油		8.56%	円/L	軽油				TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価				積算単価				EP001
	施工区分・平均切削深さ 段差すりつけの撤去作業 費用の内訳		=1 =1 =1	全面切削6cm以下(4000m2以下) 無し 全ての費用					
	【補正式】 P' = P								
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} \right] \times \frac{K1r}{K1r} + \frac{K2r}{K2r} \right.$				Kr				
	[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right] \times$				$\times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right] \times$		Rr		
							R1r + R2r + R3r + R4r		

路面切削

単価適用日/適用基準日 08年01月20日適用

頁0-0014

SCB430010 施 工 内 訳 表

施工 第0-0001号内訳表

1 m2 当り

機械構成比：	50.96%	勞務構成比：	37.49%	材料構成比：	11.55%	市場單価構成比：	0.00%	標準單価：	547.12
--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------	-------	-------	--------

[illegible]

07-实施-一般-1111-当初

殻運搬(路面切削)

単価適用日/適用基準日 08年01月20日適用

頁0-0015

SCB430020 施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号内訳表

機械構成比： 40.84% 労務構成比： 45.78% 材料構成比： 13.38% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1,752.9

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(上越②)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)	備 考
K1t'	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	40.84%	円/供用日	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			MPM03010050 MPM93010050
R1t'	運転手(一般)	45.78%	円/人	運転手 (一般)			RR0115 RR9115
Z1t'	軽油	13.38%	円/L	軽油			TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価			EP001
	DID区間の有無 運搬距離(km) (DID区間無) 費用の内訳	=1 =16 =1	無し 10.5km以下 全ての費用				
	【補正式】 P' = P						
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right.$						
	[労務補正] $\left. + \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r} \right.$						
	[材料補正] $\left. + \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r} \right.$						
	[全体調整] $\left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \right\}$						

廃材処理費
アスファルト舗装廃材

08年01月20日適用

頁0-0016

S0930

施工内訳表

施工 第0-0003号内訳表

1 t 当り

[illegible]

07-实施-一般-1111-当初

オーバーレイ
⑫密粒度アスコン(13FH) 改質Ⅰ型 t=3cm

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 雑 材 料 区 分 ・ 管 理 費 区 分
表層(車道・路肩部)	100	m2			SCB410260 施工 第0-0005号内訳表
					0 省略
遮水工法用熱溶着型改質アスファルト乳剤	80	L			F0001
					0 省略
計	100	m2			
小計	1	m2			

SCB410260 施 工 内 訳 表

施工 第0-0005号内訳表

機械構成比： 1.44% 労務構成比： 10.68% 材料構成比： 87.88% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1,723.2

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(上越②)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)	備 考
K1t'	アスファルトフィニッシャ [ホイール型]舗装幅2.3~6.0m	0.92%	円/日	アスファルトフィニッシャ [ホイール型]舗装幅2.3~6.0m			TLC1210002 TL091210002
K2t'	タイヤローラ[普通型] 運転質量13~14t	0.14%	円/日	タイヤローラ [普通型] 運転質量8~20t			TLC1060004 TL091060003
K3t'	ロードローラ[マカダム] 運転質量10~12t	0.14%	円/日	ロードローラ [マカダム] 運転質量10~12t			TLC1050002 TL091050002
R1t'	普通作業員	3.84%	円/人	普通作業員			RR0102 RR9102
R2t'	運転手(特殊)	2.16%	円/人	運転手 (特殊)			RR0114 RR9114
R3t'	特殊作業員	2.13%	円/人	特殊作業員			RR0101 RR9101
R4t'	土木一般世話役	0.77%	円/人	土木一般世話役			RR0125 RR9125
Z1t'	⑫密粒度アスコン(13FH)改質Ⅰ型	84.70%	円/式	アスファルト混合物 密粒度(20) 平均仕上り厚50mm			TZJ4101004 TZP91000030
Z2t'	アスファルト乳剤 修正	2.57%	円/L	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			TY001110102 TZ094130003
Z3t'	軽油	0.51%	円/L	軽油			TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価			EP001
	平均幅員 1層当平均仕上厚 70mm以下(mm) 材料	=4 =30 =11	3.0m超 1層当平均仕上厚 70mm以下(mm) ⑫密粒度アスコン(13FH)改質Ⅰ型				

表層(車道・路肩部)

単価適用日/適用基準日 08年01月20日適用

頁0-0019

SCB410260 施 工 内 訳 表

施工 第0-0005号内訳表

機械構成比： 1.44% 労務構成比： 10.68% 材料構成比： 87.88% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1,723.2

代 表 機 労 材 規 格			構成比	単価(上越②)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
瀝青材料種類 費用の内訳			=3 =1	タックコート(各種) 全ての費用			
【補正式】 P' = P							
[機械補正]							
$\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right] \times \frac{Kr}{K1r + K2r + K3r} \right.$							
[労務補正]							
$+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r + R4r}$							
[材料補正]							
$+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} + \frac{Z3r}{100} \times \frac{Z3t'}{Z3t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r + Z3r}$							
[全体調整]							
$+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$							

区画線設置
実線 W=15cm (外側線)

08年01月20日適用
頁0-0020

SWB821210 施 工 内 訳 表

施工 第0-0006号内訳表
1000 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
区画線設置(ペイント式)昼間 豪雪有実線15cm制約無	1,000.000	m			TQJ1037010 2 0 省略
トラフィックペイント 加熱型 溶剤型 2種B 白	70.000	l			TZJ4350005 1 0 省略
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	59.000	kg			TZJ4352001 1 0 省略
軽油	33.000	l			TZJ6702002 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)		%			#71 0 省略
計	1,000	m			
小計	1	m			
夜間作業の有無	=1	無し			
施工方法区分	=2	ペイント式溶剤型			
豪雪補正の有無	=2	有り			
規格・仕様区分	=1	実線 15cm			
時間的制約の有無	=1	無し			
未供用区間の場合の補正	=1	無し			
ペイント式塗料規格	=2	加熱			
塗料区分	=1	白			
費用の内訳	=1	全ての費用			

区画線設置
破線 W=15cm（中央線）

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
区画線設置(ペイント式)昼間 豪雪有破線15cm制約無	1,000.000	m			TQJ1037013 2 0 省略
トラフィックペイント 加熱型 溶剤型 2種B 白	70.000	l			TZJ4350005 1 0 省略
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	59.000	kg			TZJ4352001 1 0 省略
軽油	40.000	l			TZJ6702002 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)		%			#71 0 省略
計	1,000	m			
小計	1	m			
夜間作業の有無	=1	無し			
施工方法区分	=2	ペイント式溶剤型			
豪雪補正の有無	=2	有り			
規格・仕様区分	=5	破線 15cm			
時間的制約の有無	=1	無し			
未供用区間の場合の補正	=1	無し			
ペイント式塗料規格	=2	加熱			
塗料区分	=1	白			
費用の内訳	=1	全ての費用			

SWB010212 施 工 内 訳 表

施工 第0-0008号内訳表

1 人日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
交通誘導警備員B		人			RR0804 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0 省略
小計	1	人日			

SWB010010 施 工 内 訳 表

施工 第0-0009号内訳表

1 台 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
貨物自動車基本運賃 20t車以上30t車まで 50kmまで	1.000	台			TZJ6811002 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0 省略
小計	1	台			
運搬区分 片道運搬距離(実数入力) その他の諸料金の有無	=1 [km]=23.5 =2	路面切削機(ホイル廃材積込付)2.0m 片道運搬距離(実数入力) 無		[km]	
運搬中の賃料(損料)の有無	=2	無			

単価入力データ一覧表①

頁0-0024

[illegible]

単価入力データ一覧表②

頁0-0025

[illegible]

令和7年度 債道管第3号 市道桶海大鹿線道路管理工事
【数量計算書】

種 別	算 定 式	計算数量	設計数量
切削オーバーレイ工			
路面切削	路面切削厚：平均 $t=3\text{cm}$ $L=200.0\text{m}$ $W=7.50\text{m}$	1500.0 m^2	1500 m^2
アスファルト殻運搬	路面切削面積 平均路面切削厚 殻運搬量（ $L=10.5\text{km}$ 以下）	1500.0 m^2 0.03 m 45.0 m^3	45 m^3
アスファルト廃材処分	アスファルト殻運搬量 単位重量 廃材処分量	45.0 m^3 2.35 t 105.8 t	106 t
オーバーレイ	⑫密粒度 Fスコン （13FH）改質Ⅰ型 $t=3\text{cm}$ 遮水工法用熱溶着型改質アスファルト乳剤 0.8 L/m^2 $L=200.0\text{m}$ $W=7.50\text{m}$	1500.0 m^2	1500 m^2
区画線工			
ペイント式（実線） $W=15\text{cm}$	外側線 $L=200.0\text{m} \times 2=400.0\text{m}$	400.0 m	400 m
ペイント式（破線） $W=15\text{cm}$	中央線 $L=5.0\text{m} \times 20\text{本}=100.0\text{m}$	100.0 m	100 m
仮設工			
交通誘導員			6.0人・日